



令和6年7月1日現在	
総世帯数	1,366世帯
総人口	2,372人
男	1,139人
女	1,233人

更に成長していけるように

栄町町会
柳沢 慎吾

早いもので、栄町に越して

来て50年が経とうとしていま
す。元々こちらの方に親戚が
居たこともあり、全くの無縁
だったわけではありません。
おぼろげながら、バツティン
グセンターの跡地や釣り堀が
あったのを覚えてます。

さて、町内会の活動に目を
移してみますと、父がまだ現
役で働いていた頃は正直なと
ころ町内活動の「ち」の字も

関心が無く、任せっきりでし
た。今思えば、父に付いて多
少なりとも町内活動に一緒に
参加していればよかったです思
います。

そして、町内の知識が何も
無いままに昨年度一年間、自
分が住む分区の理事を担当す
ることとなります。わずか数
軒の分区とはいえ、仕事内容
は他の分区同様になさしてい
かなくてはなりません。理事
会への出席、町内会費や各種
基金の集金等、初めてのこと
ばかりで手探り状態でした。
やがて最後の理事会となっ



た頃、「これからは若い世代
に引き継いでいかなければ」
と、公民館長をやってもらえ
ないかということになりました。
理事だけでもアップアッ
プしていたものが、栄町とい
う垣根を越えて他の町会との
付き合いも発生してきます。
でも、自分を見込んで指名し
てくれたのだからと腹を括り
ました。

最近が高齢化も進み、町会
に入っている軒数も減少して
いると聞きます。少なければ
少ないなりに、どうすれば円
滑に回っていくのか、そして
将来にわたって少しでも長く
「栄町」という名の如く、栄
えていく様に、皆さんの声を
聞きながら動いていければと
思っています。

英語を通して新たな学び

向島町会
北原まゆみ

私の毎日を埋めていたのは
学生時代から「英語」と「バ
スケットボール」でした。そ
れが社会人になって今度は教
える方に回りました。子育て
中に知り合いからある学校で
英語を教えてほしいと言われ
て、何の経験もなかったため
躊躇しましたが、英語が好き

だったので、好きな事を教え
るなら楽しいかなと思ひ、引
き受けることになりました。
始めの頃は毎回の授業内容
を考えるのに大変で、何を題
材にして教えればいいのか、ど
こまで生徒に理解してもらえ
ばいいか、どうすれば興味を
もってもらえるか、わからな
いまま何となくやっていたら
学校の担当の先生に「生徒た
ち、何をやっているかわから
ない、難しすぎると言ってい
ます」と言われ、そうだった
のかと気がきました。

大学まで専門で英語を勉強
していた自分と違い、当時教
えていた、特に英語を専門に
勉強してきた訳でも英語が好
きでも得意でもない生徒たち
には何も響いていないよう
でした。今となってはそれから
どうやったのかも覚えていな
いのですが、難しい事を教え
ても意味がないことに気付い
てから生徒たちが出会うであ
ろう場面での会話とか、知っ
ていたら便利な単語とか、外
国の文化や自分が海外旅行し
た時に見たり聞いた事
を漠然と話したり、生徒たち
が英語に興味を持ってくれる
ような授業を心掛けるように
しました。

試験時には、答案用紙に授

業の感想を書いてもらうよう
にしました。そうしたら、生
徒たちがどんな事を思ってい
るのか、どんな事を教えてほ
しいのか、少しずつわかるよ
うになり、そのうち、授業後
に話しかけてくれたり、「先生
の英語の授業が一番楽しいで
す」と言ってくれた生徒もい
て、私自身もやる気や自信に
つながりました。

その後、コロナウイルス流
行時には配信で授業をする等
の色々な変化もありました
が、3年程前に私の英語の授
業は終わりになりました。教
えていたのは看護師さんの卵
たちだったので、必要な専門
の授業に特化するため英語は
必要ないとのことでした。
自分は教えることに苦手意

識がありました。思い切っ
てやらせてもらい、自分自身
の不得意なこともわかり、相
手にわかってもらうためには
どうしたらいいのかと懸命に
考え、その結果、相手がどう
思っているかと探る余裕も持
てるようになり大変勉強にな
りました。何か新しいことを
始めるのには勇気がいります
が、こんな歳になっても新し
い学びは必要なんだな！いい
経験させてもらったなと心か
ら思いました。

北インドの食を学んだ 本格インドカレー講座

6月16日の父の日に、印度山DOON食堂を営むシルプカーアシシユさんを講師に招いて「本格インドカレーを作ろう講座」を開催しました。

「自分の役目は北インドの家庭料理をお客様に提供すること」と仰るアシシユさん。ご自身の食に対する考え方をお話しされながら、独自の配合のスパイスを使ったカレー作りを指導されました。玉ねぎの水分を飛ばしながら焦げないように炒めるのがコ



手軽に楽しめるスポーツ モルツクの体験会を開催

フィンランド生まれで子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツとして注目されている「モルツク」の体験会が6月13

日に福祉ひろばで開催されました。1〜12の数字を書いて並べたある棒(スキットル)を的に、長さ20cmほどの丸太(モルツク)を投げて倒した数や書かれている数字が得点になります。丸太を何回か投げて得点の合計が50点。ヒタリになった方が勝ちです。得点が50点を超えると25点に戻されてしまうため、50点に近付くと、一投ごとに歓声(悲鳴?)が上がるほどに熱中してしまっゲームになっていきます。この日も大きな歓声が何回も上がっていました。



ッだということでした。参加者は、鶏肉・玉ねぎ・生姜・ニンニクが材料のスパイスカレーの奥深い味や北インドで食べられている独特な米の形に驚きながら、皆で試食会を楽しみました。

令和6年度 公民館五部門委員

- ◆ 運営委員
 - 町会連合会会長 ◎上條 一茂
 - 副会長 ○村上 重義
 - 副会長 ○青柳 茂
 - 会計 丸山 悦雄
 - 福社福祉推進協議会長 太田 賀夫
 - 町内公民館長会会長 鴻田 益孝
 - 民生・児童委員協議会会長 井上真由巳
 - 日赤奉仕団分団長 伊藤 睦子
 - ボランティア部会長 千田 圭子
 - 子ども会育成会会長 横内 秀明
 - 体育協会理事長 北川 清三
 - 館報編集委員
- ◆ 文化委員
 - 南源地 ◎三村 隆彦
 - 南源地 ○伊藤 博敏
 - 常盤町 ○寺嶋 修
 - 北源地 大野 貴由
 - 宮村町1丁目 伴 吉宏
 - 梅ヶ枝町 横山 徹
 - 錦町 大澤 一夫
 - 栄町 大久保庸夫
 - 天神南小池町 横山和日光
 - 小池町 宮澤 泰也
 - 中条東第1 西村 好寛
 - 中条東第2 西 寿久
 - 中条東第4 上兼 誠市
 - 南源地 茅野 俊幸
 - 北源地 牛丸 一利
 - 宮村町1丁目 深澤 正篤
 - 宮村町2丁目 廣田 純子
 - 長沢町 細田 良子
 - 錦町 下林 清次
 - 栄町 柳沢 慎吾
 - 常盤町 市川 英夫
 - 向島 永田 洋子
 - 天神南小池町 横山 和明
 - 飯田町1丁目 林 真
 - 飯田町2丁目 村上 圭子
 - 中条東第2 上條千枝子
 - 中条東第3 青柳 和代
 - 中条東第4 小笠原利恵
 - 錦町 黒田 英明
 - 錦町 古賀 寛
 - 中条東第2 青柳小百合
 - 飯田町1丁目 岩佐 晃子
 - 栄町 太田美恵子
 - 向島 下林ゆかり
 - 小池町 竹内 優
 - 荒井今朝治 小林 寛
- ◆ 図書視聴覚委員
 - ◎丸山 公正
 - 大石 建彦
 - 松田 妙子
 - 降旗 勝一
 - 清澤 梁一
 - 小林みち子
 - 上條美代子
 - 荒井今朝治
- ◆ 体育委員
 - ◎秋山 博見
 - 木下 眞吾
 - 相河八千代
 - 前川 信俊
 - 武井 一幸
 - 西 弘子

すすき川

日本でiPhoneが発売されて16年経ちました。発売当時使っている方は数えるほどだったのに今では殆どの方がスマホです。

町を歩いていると、皆黙々とつつむきながらスマホをいじっています。そこまでしなくても思っています。

カフェに行っても若いカップルが会話もなくお互いスマホを操作している様をよく見ます。自分には不気味です。

今スマホ依存症が増加しているようです。簡単に手に取れる利便性がかえって依存に拍車をかけてしまっています。

LINEなどで直ぐに既読や応答をしないとイジメの原因になったり、自己嫌悪になったり、常にプレッシャーを受けているようです。便利な機械が逆になっています。

若い方の素早いキータッチに驚くと同時に、誤変換の多さにも驚きます。

常にスマホの画面に気をとられ、四季の変化や町の移ろいに鈍感になってしまっているのも哀しいことです。

「書を捨てよ、町に出よう」ではなくたまには「スマホを捨てよ、町に出よう」 (小林)